



ROTARY
BRINGS
HOPE

ロータリーは
希望を
もたらす



会長 山口篤之助 幹事 松田士郎 クラブ奉仕 市川輝雄 職業奉仕 庄司嘉男 社会奉仕 布施隆夫 国際奉仕 中江 亮 青少年奉仕 塚原初男

出席報告：会員 78 名 出席 41 名 出席率 65.08 % 前回出席率 74.60 % 修正出席 57 名 確定出席率 90.48 %

鶴岡市学校給食センター見学会

職業奉仕委員会委員長 庄 司 嘉 男 君

学校給食センターについて

センター所長 中 鉢 喜八郎 氏



今日はこのセンターを見学していただき誠に有難うございました。又、試食の方は如何だったでしょうか。センターの建設、又市の行政には皆様より格段の御協力を頂き心より御礼申し上げます。

このセンターについて簡単に御説明を致し、あとで御意見や質問を受けたいと思います。

皆様ご存じの様に、鶴岡市は学校給食の発祥の地であります。明治22年に大督寺にありました私立忠愛小学校で生活にこまった方々に給食や学用品をやり、就学奨励をしたのが始まりであります。この様な由緒のある鶴岡であります、実際に始めたのは昭和22年です。当時は小学校だけでしたが、昭和40年7月に前の給食共同調理場が出来、その時中学校も入り、市内全校が完全給食となりました。当初は18,000食でしたが、現在は市内29校で13,000食になり、約20年で4,000人位減っております。学童数の減少で今は12,000台の時もあります。

前調理場は、当時は市外地であったが、今は住宅地となり手狭になり、生活環境や汚水処理等のことで住民からの苦情もあり、今回の建設となりました。

当初の計画は2ヶ所の要望もありましたが、敷地等の制約もあり、旧大泉中学校の跡地へ決定しました。建物は一つになっておりますが、内部は同じシステムの調理場が二つになっております。

センターの概要は次の通りです。

敷地が8,426㎡で1.7倍の広さで、建物は3,110㎡で1.4倍の大きさです。

特徴としては、同じ調理場が2つあることと、ドライシステム(床に水がないこと)です。今までのウェット方法が大多数であったが、ドライになりますと床面に水や残物がなく衛生的であり、作業上も身軽に出来、雑菌の発生もなく、機能的であります。湿気がないことにより機械等の寿命も長くなります。以上の特徴の他に見学コースや、作業内容をビデオにとり市民の皆さんに説明し、御理解を得たいと思っております。

この作業時間は、8時30分から5時までで、午前中は搬入された材料の洗浄、加工、仕込、搬送。午後は食器の搬入、洗浄、消毒作業となります。

内部の機械は全て新品で、30種類70台位の設備があり、中には真空冷却機、割卵機、野菜洗浄機、あえもの機等が主なものであります。

建物の竣工が3月下旬であったために、4月7日から給食開始なので準備期間が短かく、機械の調整

庄内空港の建設を推進しましょう

等で色々と職員も苦労しましたが、5月頃からは予定の時間に作業も進み、出来たてを子供達に届けることがやっと出来ました。

この施設の設計は、新徳・アックスクリエートの企業体、厨房は日本調理機、主体工事は温海佐藤組・菅原工務店共同企業体、機械設備は山空・東北量水器・松田共同企業体、電気設備は東北電工・アサヒ電工共同企業体で施工しました。総工事費は、115,000万、内国補助は9,380万、起償は66,000万が主な内訳です。

総職員は57名、内調理人は48名、2つの調理場へ別れ24名が3班に別れ1週間交替でそれぞれの仕事を順番にやっております。栄養士は4名、事務職が4名、ボイラーや機械整備が1人です。前のセンターは75名の職員、搬送や米飯等の人を入れると87名の職員であったが、近代化に伴って人員が少なくなっており、搬送は5台の車であったが、今回は日本通運に外注し8台の車で10時40分に配達しております。

食器もアルマイトからポリ容器に替え、ご飯入れも前は空弁当を持参させていたが、今はセンターできれいな器で準備して食べております。

前は先割スプーンでしたが、去年第3小学校で割バシでの試験をしたが好評でしたので、今回から先割スプーンをやめてハシを持参させており、子供達から評判も良く、ご飯も若干多く食べられている様です。米飯食は週2回から週2.5回になっております。

給食費は小学校が195円、中学校が233円となっておりますが、これには牛乳等の補助もあります。食費は父兄の負担となっておりますが、設備、人件費等は法の定めにより市負担となっており、材料費として年間5億2、3千万を集め、市負担は約4億円で、約10億の経費で運営しております。米飯、パン、牛乳は業者の納入で、直接学校へ配達されており、センターは副食物だけとなっております。



今日の献立について

センター栄養士 佐藤豊美さん

西棟の献立が明日は東棟で作り、2日間で東西で交代する訳であります。東と西と作り方の情報交換をして、次の日にはより良いものが出来る様がんばっております。今日の西棟は中華風スープとパン、金団、ギョーザと冷凍ミカンになっております。何故冷凍ミカンを使うかということ、夏場は色々な果物が豊富ですが、給食には色々な制約があり、大小の問題、数量の問題等がある、型が同じで多量に仕入れられるものになるわけです。地元のものとなると、上記の様に13,000食を揃えることに問題が出てくるのです。今日のミカンも、暑い時には冷たいものでビタミンCの多く含むものにしたのですが、子供達からの評判が良くありません。最近はいちご、



今日の献立は、西棟がパン、東棟は米飯食ですので今日の御馳走は東棟で作ったものです。

今日のはご飯(80g約6勺)とひき肉の焼煮、生野菜キャベツとラデス、ハンバーグです。子供達はトマト、皆さんにはアマナツにしました。それと胚芽のふりかけ。一応カロリーは647カロリーの基準の献立で、量は小学校高学年用です。小学校は3段階で1・2年、3・4年、5・6年。中学校は1段階であります。



メロンも出しています。

皆様の口に合いますか心配ですが、自分の体に合った量を食べて下さい。



会長報告

山口篤之助 君

1. 故早坂源四郎 P.G.の奥様さえ様が6月17日午前5時50分お亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。尚、お葬式は来る27日午後1時、般若寺さんで行われます。
2. 次週6月30日(火)の例会は本年度最終例会の為、時間と場所変更になります。どうかお間違いない様お願いします。出来るだけ多くの方々のご出席をお願いします。

幹事報告

松田 士郎 君

○例会場所・時間変更のお知らせ

1. 酒田ロータリークラブ

6月24日(水)の例会は年度末懇親会の為

日 時 6月24日(水)午後6時30分点鐘

場 所 六 助

登録料 4,000円

2. 温海ロータリークラブ

6月29日(月)の例会は会長・幹事慰労会の為

日 時 6月29日(月)午後6時点鐘

場 所 温海ホテル

登録料 3,500円

○内川清掃奉仕作業説明のご案内

日 時 6月24日(水)午前10時

場 所 市役所6階大会議室

次年度幹事に引継ぎます。

○「ミス最上川」の推薦の依頼書が立川町長よりま

いております。詳細は事務局まで。

ごあいさつ

次年度庄内分区代理

八幡 R.C 高橋 省吾 君



次年度分区代理の八幡 R.C の高橋です。

何分分区代理として不勉強で何も分りませんが、これから一生懸命勉強していきたいと思ひます。

今年のテーマでもあります「奉仕に結束」「平和に

献身」が本年度のテーマであります。又、志藤ガバナーよりは地区内に4つの運営が示されております。運動の1つは会員増強、会員増強の積極化を唱っております。2つ目は職業による奉仕の徹底。3つ目はロータリー財団への協力。4つ目は広報活動の充実。この4つのテーマが来年度に示されております。

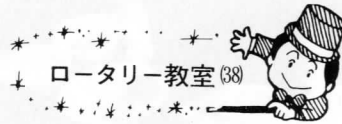
19日、酒田で拡大委員会が開催され、私は都合で欠席しましたが、7月には書類が出来、9月には認証書の伝達式を予定しております。仮称「酒田中央 R.C」として、21名でスタートする予定です。来年度は会員拡大に力を入れて行きたいと思っております。

当地のガバナー公式訪問は8月25日(火)になっておりますので、早目に次年度事業計画書、報告書を提出して下さい。

7月10日から12日には台湾から短期交換受入れが

あり、皆様にはお盆前で大変忙しい中ですが、この事業にもよろしく願い申し上げます。

私は浅学非才な者ですが、伝統と歴史のある鶴岡R.Cですので、今後共よろしく願い申し上げます。



(第1411回例会会報より続く)

委員会報告

親睦活動委員会

藤川 享胤 君

NHKギャラリーで、松山さんの奥様から習ってあります布花教室の成果の展示会が開催されておりますので、是非NHKへ来て御鑑賞下さい。来年度もこの教室を開きますので、皆さんの奥様を多数参加させて下さる様御願い致します。

スマイル

- 庄司 嘉男 君 今日職場訪問に委員長として欠席のため。
- 佐藤 友吉 君 公共事業を多数受注したので。
- 笹原 桂一 君 R.Cのゴルフコンペに優勝したので。
- 佐藤 忠君 R.Cのゴルフコンペに準優勝したので。
- 新穂光一郎君 ここの給食センターの設計を担当したので。
- 佐藤 衛君 同上 本体工事を請負をしたので。
- 若生 恒吉 君 同上 機械工事を請負をしたので。
- 上野 三郎 君 給食センターにパンと米飯を納入しているの。
- 鈴木 善作 君 給食センターに牛乳を納入しているので。
- 笹原 信一郎 君 個人的におめでたいことがあったので。
- 高橋 省吾 君 次年度分区代理として。

ビジター

八幡R.C 高橋 省吾 君

ロータリークラブ 3

これと同じことが、個々のロータリアンについてもいえます。ロータリー家族の一員として、ロータリアンは、世界のいずれのクラブをも自由に訪れる権利と、それにともない、あらゆる人種、あらゆる国のロータリアンと友好を広める特典をもっています。たとえば、ケニアのモンバサのロータリアン医師がなんの前ぶれもなくノルウェーのモッドム・クラブを訪ねることができるし、また、日本の茨城県の手取クラブの会員がイタリアのトリノ・クラブを訪ねても一向に差し支えありません。創始者ポール・ハリスがいったように「ロータリアンはおたがいの意見を尊重し、つねに寛大で友好的である。カトリック、プロテスタント、回教、ユダヤ教、あるいは仏教徒がロータリーではいっしょにパンをわかちあってたべている」のです。

ロータリーは、私利私欲のみを追求する実業人の団体でないのと同時に、国家主義者の集まりでもありません。すべてのロータリークラブは、その窓と扉を広く全世界に向けてあけておかねばならないのです。約160カ国の大小地域社会の一般実業人そして専門職業人は、ロータリアンになることによって国際理解と友好を深めあう豊かな機会をあたえられています。事実、ロータリー以外ではけっしてえられなかったと思われる機会にめぐまれたことに感謝している人々が多数います。地元や外国の地域社会の人々とともに活動し、文化的交流をおこない、あるいは指導力を発揮し、あるいは旅行し、ゆたかな友情を育む機会が無限に与えられています。なかでももっとも意義があるのは、奉仕の機会が全世界的なものとなるということです。(次回へ続く)